

関西ゲリラズ01

NPO建築とアートの道場
2024 Spring Lecture

Produce
長谷川逸子
Curation
藤野高志 + 川勝真一

2024
企画説明

NPO建築とアートの道場2024年2月3月のイベント。関西建築家によるトークイベントを、藤野高志と川勝真一の2人が企画。昨今の大阪万博2025の木造リノベーションや各国バビリオンの進捗に向けられたポリテクニカル・コレクティブを受け、これまで単眼的な評価に陥りかねない、建築を取り巻く社会状況に対して、批評的な活動を続ける関西建築家4人を取り上げる。登壇者は、60代、50代、40代、30代から選定し、世代を横断した関西建築界の流れを紐解く。その第一弾。

主旨

1970年の万博に湧く大阪で「都市ゲリラ住居」を安藤忠雄が構想したように、関西には主流に与しない生き方を模索する建築家の文化があるのではないかな。

2025年の大阪万博に向かう建築を取り巻く状況は、社会の定める「正しさ」に、かつてないほど枠取られようとしている。そのような時代だからこそ「正しさ」とは何かを問い直す批評的建築の実践が求められるはずだ。関西建築界に脈々と流れるゲリラ的スタンスを貫き、独自の倫理観を掲げて活動する建築家たちに焦点を当てる。

宮本佳明

第一回：2月13日（火）18時



1961年兵庫県宝塚市生まれ。1984年東京大学工学部建築学科卒。1987年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。1988年アトリ工第5建築界設立。2002年宮本佳明建築設計事務所に改組。2017年大阪市立大学大学院工学研究科教授。2012年大阪市立大学名誉教授。2021年早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授。

森田一弥

第二回：2月20日（火）18時



1971年愛知県生まれ。1994年京都大学工学部建築学科卒。1997年京都大学大学院修士課程修了後、2001年まで京都「しっくり浅原」にて左官職人として修行。2000年森田一弥建築設計事務所設立。2007年Enric Miralles Benedetta Tagliabue Arquitectes勤務。2011年カタルニア工科大学パルセロナ建築学校客員研究員。現在、京都府立大学准教授・森田一弥建築設計事務所主宰。



家成俊勝

第三回：2月27日（火）18時



1974年兵庫県生まれ。関西大学法学部法律学科卒。大阪工業技術専門学校夜間部卒。専門学校在学中に設計活動を開始。京都芸術大学空間演出デザイン学科教授大阪工業技術専門学校建築学科II部非常勤講師。



1986年京都市生まれ。2008年KASD卒。2010~13年アルファヴィル。2013年LUNCH! ARCHITECTS設立。2015年再建築不可長屋を活用し自立的なコミュニティをつくる本町エスコープロジェクトがきっかけでストリートでのセルフビルドについて実践。施工参加・友人アーティスト50／職人50で施工・みんなで設計する・プロセスで遊ぶ。理念の元ヒエラルキーのない小さな建築を設計施工。趣味は怪談蒐集。

和田寛司

第四回：3月5日（火）18時



最終回：3月12日18時～登壇者座談会



長谷川逸子（はせがわいつこ）
静岡県生まれ。関東学院大学、東京工業大学を経て、1979年長谷川逸子・建築計画工房設立。1986年日本建築学会賞。早稲田大学、東京工業大学、九州大学などの非常勤講師、米国ハーバード大学客員教授、1997年王立英国建築協会名誉会員。2000年第56回日本芸術院賞受賞。公共建築賞受賞。2001年ロンドン大学名誉学位。2006年アメリカ建築家協会より名誉会員の称号。



藤野高志（ふじの たかし）
1975年群馬県生まれ。1998年東北大学工学部建築学科卒業。東北大学大学院都市・建築学博士後期課程修了。2000年清水建設本社設計本部。2001~05年はりゅうウッドスタジオを経て、2006年生物建築舎設立。2022年～東北大学准教授。現在、大阪公立大学、東北工業大学非常勤講師。成安造形大学客員教授。2013年日本建築学会作品選集新人賞。



川勝真一（かわかつしんいち）
1983年兵庫県生まれ。2008年京都工芸繊維大学大学院修士課程修了。2008~23年RAD共同主宰。2023年～一般社団法人建築文化代表理事。建築の展覧会キュレーション、市民参加型ワークショップの企画運営、レクチャーイベントの実施、行政への都市利用提案などの実践を通し、建築と社会の関わり方、そして建築家の役割についてのリサーチを行っている。現在、大阪公立大学、摂南大学、京都芸術大学他、非常勤講師。

長谷川逸子氏コメント
2016年にオープンした「NPO建築とアートの道場」は、コロナ禍で活動が途切れがちになってしまいましたが、今年は本格的に活動を再開していきます。第一弾となる2024年新春レクチャーは、藤野高志さんと川勝真一さんに、主に関西で活動する建築家達に焦点をあてたシリーズのキュレーションをお願いしました。私は日本の各地に公共建築をつくるなかで、地域の環境、歴史や文化を継承する人々の保守的な生活に接続するよう新たな豊かさを生み出したいと考えてきました。新しい建築のあり方を生み出している地方の建築家の活動に学びたいと思います。